

「モスルだけで 2300 車両」：ISIS の手に渡った米兵器

【訳者注】このような現地からの情報と、「いかにアメリカが ISIS を助けていたか」という全体的分析を併せ読むと、事情が立体的に見えてくるであろう。例えば、ブレナン CIA 長官が言ったという「戦う意欲の欠如」（これはカーター国防長官の言葉）というが、実はそれだけでなく、戦いにくい理由があるのだ、という言葉の意味がわかってくる。

June 1, 2015

RT



イラクは、ISIS ジハーディストが、米国製の兵器を大量に鹵獲（ろかく）したことを認めた。その中には、昨年、モスルから退却するイラク軍から分捕った数千台のハンビー（多動多目的車両）も含まれている。この分捕り品はその後、ISIS によって、イラクとシリアの土地を奪うために用いられている。

「モスルが陥落したとき、我々は大量の兵器を失った」と、Haider al-Abadi 首相は、イラク国営テレビとのインタビューで語った。「我々はモスルだけで 2300 台のハンビーを失った。」

イスラム国 (IS, ISIS) は、2014 年 6 月、イラク政府軍がこの国のスンニ派の砦から撤退したさい、イラクの 2 番目の都市モスルを占領した。

関連記事：「ISIS に対する米空軍作戦が、ますます多くのジハーディストを産んでいる」

<http://on.rt.com/dvu307>

イラク軍の放棄した多数の重兵器・軽兵器が未知のままになっているが、過去十年にわたって、アメリカはイラクに対し、戦車や他の軍事ハードウェアとともに、数千の装甲車両を売りつけている。

ペンタゴンは、今月、バグダッド軍がロマーディを失ったとき、大砲類や 100 台ほどのハンビーに加えて、少なくとも半ダースの戦車が放棄されたと見積もった。



一方、アメリカは昨 12 月、IS によって略奪されたストックを補うための、イラク政府に送る新しい兵器を承認した。一つの契約は、124 億ドル相当の 175 の M1A1 エイブラムズ重兵器の販売を許可するものであり、別の契約は、M 2.50 口径機関銃と、MK-19 40mm 手榴弾発射機を搭載した 1000 台の

Humvee の配達を認めている。

それらは、IS がイラクと北シリアの両方の、広大な領土を手に入れたときに用いたのと、全く同じ型の兵器である。実は、米国製ハンビーのシリア領土での最初の使用が、昨年、モスルがジハーディストの手に落ちた直後に、報告されている。

<http://www.reuters.com/article/2014/06/22/us-syria-crisis-idUSKBN0EX12E20140622>

5 月中旬ごろ、IS は、イラク軍がこの軍団に対して 1 年以上持ちこたえたアンバル地区の首都を、支配下におさめた。彼らはまた、シリアのパルミラ (Palmyra) も支配下におさめ、多くの処刑を行った。

米情報局が増大する IS の力を指摘

一方、日曜日には、CIA 長官ジョン・ブレナンが、イラクとシリアで IS の獲得したものは、情報共同体にとっては、実は驚くことではなかったと認めた。



「私は先週の情報を再点検して、我々にわかっていること、ISIS についてわかっていること、イラクやシリア内部での彼らの動きなどを調べた。わかったのは、彼らの力が増強していることだ」と、ブレナンは CBS の Face the Nation のインタビューに答えて言った。

関連情報：「ダブル・スタンダードを捨てよ！ ロシアが、パルミラ虐殺後の、共同反 ISIS フロントに求める」 <http://on.rt.com/mabnyi>

彼は ISIS の成功の原因は「多くの要因によるもの」で、たまたま生じた状況が原因だが、特に、過激派と戦うのに必要な指導者が、いくつかのイラク部隊にいなかったこと、輸送のサポートがなかったことだと言った。

イラク軍の失敗の原因は「戦う意欲の欠如」に見えたかもしれないが、「ISIS の能力増大についてのかかなりの量の情報とともに、実は、イラク政府を取り巻く困難もあるのだ」とブレナンは述べた。